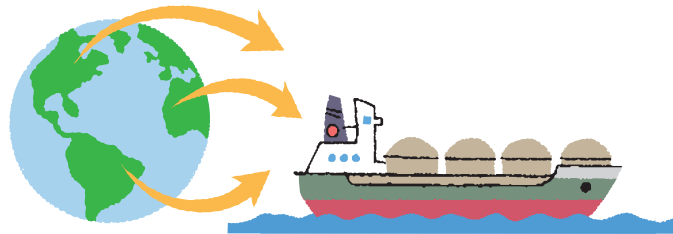


お客さまに電気をお届けするまで(事業概要)

燃料調達



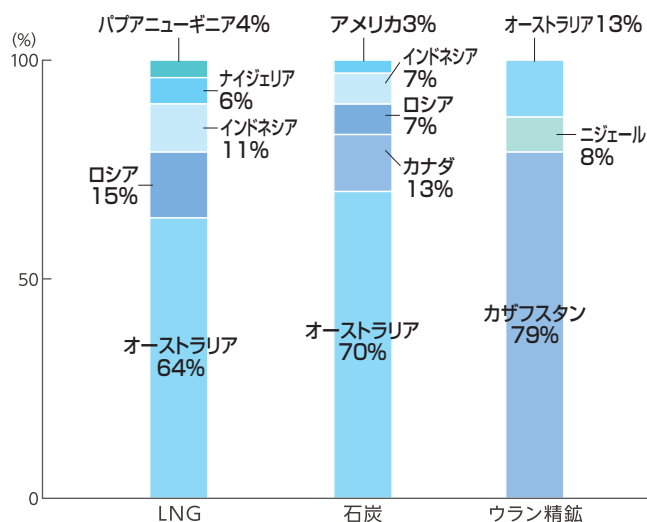
燃料調達先の多様化、資源開発・生産プロジェクトへの参画、及び燃料トレーディング（燃料の数量調整・価格管理）の導入などを行い、燃料調達力を強化しています。また、燃料輸送においては、自社 LNG（液化天然ガス）輸送船や当社専用の契約船などの運航を通じ、コスト低減を図っています。

2018年度は、LNGと石炭の調達数量減により、前年度に比べ燃料費が約23%（約700億円）減少しました。

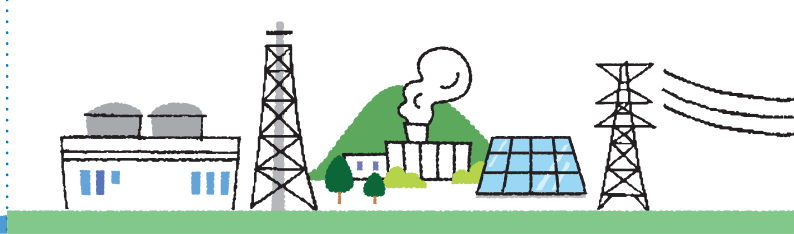


自社LNG輸送船(パシフィック・エンライトン)

■ 燃料調達状況(2018年度)



発電



エネルギーの長期安定確保、地球温暖化対策、及び経済的な電力供給の観点から、安全・安心の確保を前提とした原子力発電の推進、再生可能エネルギーの積極的な開発・導入、及び火力発電の高効率化などにより、各種電源をバランス良く組み合わせた発電を行っています。

2018年度は、玄海原子力発電所3、4号機が国の最終検査に合格し、通常運転に復帰しました。



玄海原子力発電所

■ 発電設備[九州](2018年度末)

水力発電	143 箇所	358.0 万 kW
火力発電	8 箇所	996.0 万 kW
地熱発電 (バイナリー含む)	6 箇所	20.8 万 kW
内燃力発電 (ガスタービン含む)	33 箇所	39.5 万 kW
原子力発電	2 箇所	469.9 万 kW
風力発電	2 箇所	0.3 万 kW
自社計	194 箇所	1,884.5 万 kW
他社計	—	1,097.4 万 kW
発電設備合計	—	2,981.9 万 kW

■ 発電設備[海外](2018年度末)

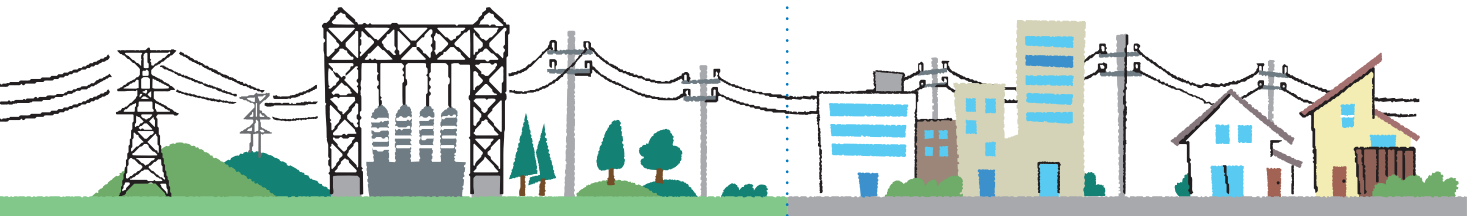
火力発電	6 箇所	160.9 万 kW
風力発電	1 箇所	1.5 万 kW
地熱発電	1 箇所	8.3 万 kW
発電設備合計	8 箇所	170.6 万 kW
火力発電 (建設中)	2 箇所	26.9 万 kW

燃料調達からお客さまに電気をお届けする各過程において、CSRの取組みを行っています。



送電・配電

エネルギーサービス



発電所から変電所まで送電線で電気を送り、変電所から配電線で、ご家庭や工場などに、電気を安定的にお届けしています。

九州の産業や生活を支える電力を安定的に低コストでお届けするため、電力システムの安定運用や送電・配電設備の着実な保全を行っています。

台風などの自然災害に伴って大規模な停電が発生したときには、総力を挙げて復旧にあたり、早期の送電に努めています。



500kV 苅北火力線 (九州一高い鉄塔 [高さ195m])

■ 変電・送電・配電設備(2018年度末)

変電	変電所数	597 か所	
	容量	7,509.2 万 kVA	
送電	送電線路こう長	10,803km	
	支持物	鉄塔	約25,000基
		その他 (コンクリート柱など)	約42,000基
配電	配電線路こう長	142,223km	
	支持物	コンクリート柱	約2,423,000本
		その他 (鉄柱など)	約42,000本

ご家庭のお客さまのニーズに合った料金プラン・サービスや、法人お客さまへのエネルギーに関するワンストップサービスの提案など、お客さまのさまざまな思いにお応えする多様なエネルギーサービスを展開しています。

お客さまとの接点を活かした「顔の見える営業」により、お客さまのライフスタイルにあわせた料金プランや日々の生活のお困りごとを解決する「九電あんしんサポート」、オール電化に加え「きゅうでんガス」などを展開しています。



■ 「きゅうでんガス」の展開

